

令和 7 年度

東京都立武蔵丘高等学校 学校経営報告

東京都立武蔵丘高等学校

校長 西島 宏和

1 学習指導

【今年度の成果と課題】

- ① 大学入学共通テストにおける各教科・科目等の校内平均点（同試験の全国平均点）：

数学Ⅰ、地理歴史日本史で全国平均以上

- ② 教員相互の授業観察（1人あたり年2回以上）実施率：100%（100%）

- ③ 夏期及び冬期講習等の開講講座合計数と参加生徒の延べ人数：

48 講座 2542 名（40 講座、2500 名以上）

- ④ 1・2年生の自学自習時間（平日1日あたり）：

1年生 88.75 分、2年生 162.24 分（1年生 70 分以上、2年生 80 分以上）

- ⑤ 英語検定2級合格者 162 名（120 名以上）

大学入学共通テスト出願者数は 270 名、受験者数は 200 名以上と、昨年に引き続き多くの生徒が受験した。同テストでは、全国平均を上回る教科・科目は1教科2科目となった。しかし、平均点に近い科目も多くあることから、次年度も全国平均点を上回る教科・科目を増やすことが課題である。教員の相互授業観察は全員が実施した。若手教員が年3回実施する研究授業には多くの教員が参加し、経験のある教員が若手教員にアドバイスし、若手教員の授業力向上に寄与した。総合的な探究の時間では、外部企業の協力を得ることで、充実を図ることができた。引き続き教科会、各学年と進路指導部、教務部が連携を深め、授業改善に取り組んでいく。また、次年度は生徒が自ら学習に取り組み、生涯にわたる自ら学ぶ力を養うことを目的とした「自学自習」の定着をさらに推進したい。

2 進路指導

【今年度の成果と課題】

- ① いわゆる準難関校以上（国公立大学＋早慶上理＋GMARCH＋成成明学獨國武＋4工大＋3女子大）の

現役合格者数：126 名（130 名以上）

- ② 大学入学共通テスト出願者数：270 名（250 名以上）

- ③ 3年生の進路決定率：91%（95%以上）

国公立大学、早慶上理、GMARCH、成成明学獨國武までのいわゆる準難関大学の現役合格者数は、目標値をやや下回ったが、四工大、農大、三女子大まで含めると 126 名となった。共通テスト出願者数は目標値を上回ったが、進路決定率は目標値をやや下回った。年内入試で進路を決める生徒が増加したため一般入試での合格者数が特に日東駒専でこれまでよりも少なくなった。次年度に向けては進路指導部が中心となり年内入試への組織的な対応を強化するとともに一般入試を目指す生徒への対応も引き続き丁寧に

取り組んでいく。一般入試については、最後まで諦めず学習に取り組んだ生徒と、丁寧で粘り強い教員の支援は賞賛に値する。

3 生活指導

【今年度の成果と課題】

- ① 全学年のクラスにおいて1クラス1日あたりの遅刻者数：平均0.84名（平均1.00名以下）
- ②（学校評価）生徒対象「服装や身だしなみについて十分な指導がされている」に対する肯定的な意見：
88%（75%以上）
- ③（学校評価）生徒対象「本校ではいじめ防止の対策がとられている」に対する肯定的な意見：
76%（85%以上）
- ④（学校評価）生徒対象「本校のSNSルールを知っている（守っている）」に対する肯定的な意見：
92%（90%以上）

遅刻数は、学年としては3年生、時期としては冬季に遅刻が多い傾向にあることから、重点的に対策を進める必要がある。遅刻指導については、生活指導部と各学年が連携して取組を進めていく。身だしなみ指導については、全校で取組について検討をしていく。いじめへの対応やSNSルールについては、生徒への啓蒙を進めるとともに引き続きアンテナを高く張り、粘り強く指導していきたい。さらに、登下校時の自転車事故防止や自転車乗車時のヘルメット着用などの交通安全指導についても外部講師による講演を実施するとともに、スクールサポーターからの助言を受けながら指導を推進していく。

4 特別活動・部活動

【今年度の成果と課題】

- ①（学校評価）生徒対象「体育祭、武高祭では充実感や達成感を感じた」に対する肯定的な意見：
93%（90%以上）
- ②（学校評価）生徒対象「本校は部活動と勉強の両立を指導している」に対する肯定的な意見：
77%（80%以上）

武蔵丘高校4大行事である体育祭、武高祭、英語暗唱大会、合唱祭は、生徒が主体的に企画や準備を進めることで実施することができた。どの行事においても保護者の参観が多く、保護者の関心が高いことが推察される。改築工事のため、令和8年度の体育祭は外部会場で実施するが、生徒が充実感を感じることができるよう進めていく。今後は生徒が企画運営する本校の伝統行事をさらにどのように充実させていくかが課題である。部活動については、多くの生徒が参加しており、部活動指導員等を多く配置し、活動を進めている。次年度は、運動部について活動場所の確保などの準備をする必要がある。

5 健康づくり

【今年度の成果と課題】

- ①（学校評価）生徒対象「生徒は校内の環境美化活動に取り組んでいる」に対する肯定的な意見：
（70%以上）

- ② 教育相談、発達障害やアレルギー対応等に関わる教職員研修会の実施回数：年4回（年4回）
- ③ 生徒対象講演会等の実施回数：年4回（年3回）
- ④（学校評価）生徒対象「SCについて生徒に対し十分にアナウンスされている」に対する肯定的な意見：82%（70%以上）

昨年度に引き続き、校内にごみ箱を設置せずに、ごみの持ち帰りを徹底したことで校内美化への意識の向上を図ったが、さらに生徒の美化活動への参加を進める必要がある。今年度はインフルエンザによる学年閉鎖等を実施した。今後も生徒に対して継続的に感染症防止に向けた意識付けをしていく必要がある。高校生の意識調査等を定期的実施し、その結果を教職員全体で共有し指導に生かすことができた。今年度より、スクールカウンセラーの配置が2名となり、これまで以上に特別支援教育委員会、スクールカウンセラー、巡回心理士等と連携して、学校全体の教育相談機能のより一層の充実を図ることができた。次年度についても引き続き教育相談機能の充実を図っていく。

6 広報募集活動

【今年度の成果と課題】

- ① 学校見学会・学校説明会等への中学生・保護者の参加者数：2300名（2500名以上）
- ② 授業公開への参加者：270名（700名以上）
- ③ 入学選抜の倍率：
推薦に基づく選抜：2.03倍（2.50倍）、学力検査に基づく選抜：1.26倍（1.50倍）

夏季休業中の学校見学会及び3回の学校説明会への参加者数は、目標には届かなかったが、2300名の参加があった。校舎改築が進む中での開催であったが、多くの中学生とその保護者の参加を得ることができた。学校説明会では生徒を前面に出すことで多くの参加者に本校の魅力を伝えることができたと思われる。授業公開への参加者は目標を達成することができなかったが、参加者からは様々ご意見を頂き、参考となった。本校で開催する見学会、説明会以外にも多くの教員の協力で外部での説明会においても多くの参加者を集めることができた。改築の関係等の影響が考えられる中で、入学者選抜の倍率は低下傾向にあるが、次年度に向けては、本校の魅力を発信できるように広報募集活動をさらに推進していく。

7 学校経営・組織体制

【今年度の成果と課題】

- ①（学校評価）生徒対象「本校に入学して良かったと思う」に対する肯定的な意見：93%（85%以上）
- ②（学校評価）生徒対象「本校では先生と生徒の人間関係は良好である」に対する肯定的な意見：91%（85%以上）
- ③（学校評価）保護者対象「本校に入学させてよかったと思う」に対する肯定的な意見：92%（85%以上）

<参考>（学校評価）保護者対象「武蔵丘高校に入学させてよかったと思う」に対する肯定的な意見：
92%

総合的な探究の時間を業者と連携しながら実のあるものにすることができた。教科における一人一台端末を活用した授業等を推進し、朝学習や進路活動においても活用することができた。校務支援システム等を活用し、業務の効率化をより一層推進するとともに、学校全般の業務内容の見直し等を行い、部活動指導員の活用を含め教員の働き方改革が実効的になるよう推進をしていく。「サービス事故ゼロ」になるように日頃からの教職員への啓蒙をおこない生徒・保護者・都民の信頼に応えていく。次年度においても、改築工事や仮設校舎への移転等があるが、生徒や保護者が、「本校に入学して良かったと思う」と思えるような学校づくりを推進していく。